

# 岡山対がんシンポジウム2015

テーマ 働きざかり世代(ミドルエイジ)のがんを考えよう

日時:平成27年5月30日(土)13:30~16:00

場所:ピュアリティまきび

働きざかり世代のがんをテーマに、シンポジウムを開催しました。  
若い世代で増加している乳がんについて、予防から診断・治療までのお話と  
がんと診断された時から始まる緩和ケアについて、専門の先生方から講演していただきました。  
当日は、多数の方のご参加をいただきました。ありがとうございました。

司会 岡山県健康づくり財団附属病院 院長 西井 研治

- 1 「がんで不幸にならないために」  
岡山県保健福祉部医療推進課 課長 則安 俊昭
- 2 「若年者乳がんの特徴とその取り組み」  
岡山大学病院乳腺・内分泌外科 教授 土井原 博義
- 3 「働き盛りのがんを考えよう～がん治療と緩和医療」  
岡山赤十字病院緩和ケア科 副部長 渡辺 啓太郎
- 4 「がんになっても自分らしく～大切にしていることは何ですか～」  
岡山大学病院 看護部・緩和ケアセンター  
副看護師長・緩和ケア認定看護師 高下 典子



会場の様子



岡山大学病院 土井原先生の講演



県医療推進課 則安先生



岡山赤十字病院 渡辺先生



岡山大学病院 高下看護師



質疑応答 (左から) 高下先生 渡辺先生 土井原先生 則安先生



展示ブース パナソニック様 三井住友信託銀行様  
富士フイルム医療様